

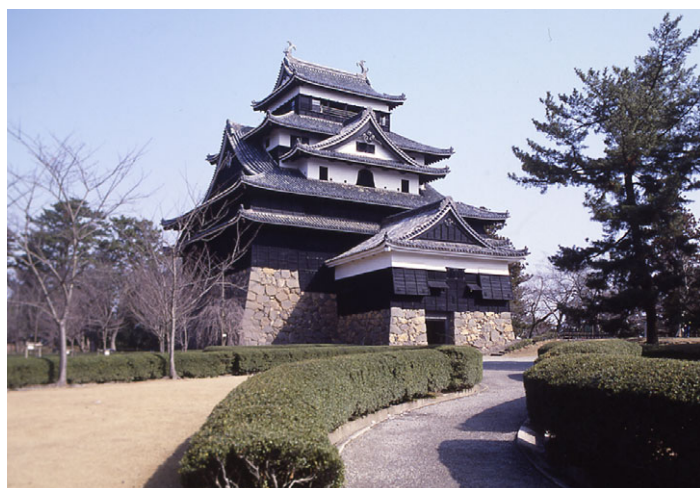
『歴史的な資源』を活かしたまちづくり

島根県 松江市 歴史まちづくり課

1. はじめに

松江市は、島根県東部に位置し、古代出雲の繁栄を物語る神々の神社や、松江城を中心とした江戸時代から続く伝統的な町並みなど、多くの歴史的な景観資源を有する人口約20万7千人の国際文化観光都市です。

この度は、現在、本市が取り組んでいる『歴史的な資源』を活かしたまちづくりについて、ご紹介をさせていただきます。



松江城（全国の現存する天守の中で二番目に規模が大きく国宝化を目指しています）



佐太神社（『出雲國風土記』にも記されている出雲大社と並ぶ古社です）

2. 歴史まちづくり計画

(1) 計画策定の背景

本市には、古代出雲の繁栄を物語る豊富な古墳群や、神々を祀る神社が数多くあり、出雲神話に因ん

だ祭礼や伝統行事が行われています。また、松江城を中心として近世に形成された城下町が良く残り、茶の湯文化が息づくほか、鑿行列やホーランエンヤなどの伝統的な祭礼行事も行なわれ、それらが一体となって良好な歴史的風致を形成しています。

しかし、近年、全国的に見られる人口減少、高齢化、中心市街地の空洞化などの要因により、松江市でも歴史的景観の悪化や、伝統的な祭礼行事の担い手不足が生じております。

このような状況の中、松江市固有の歴史的資源を今一度、見つめ直し、最大限活かしていくことが、今後の「まちづくり」を進める上で、最も重要であると考え、指針となる計画を定めることとしました。

定めるまちづくり計画としては、歴史的資源の保存・活用を目的として制定された「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称：歴史まちづくり法）」に基づく「歴史的風致維持向上計画」とし、本市では平成23年2月に「松江市 歴史的風致維持向上計画（通称：松江市 歴史まちづくり計画）」を策定し、国の認定を受けました。

この計画書では、歴史まちづくり事業を効果的・効率的に推進するため、「重点的・優先的に整備するエリア（重点区域）」と「エリア毎の整備事業」を定めております。

(2) 重点区域と整備事業

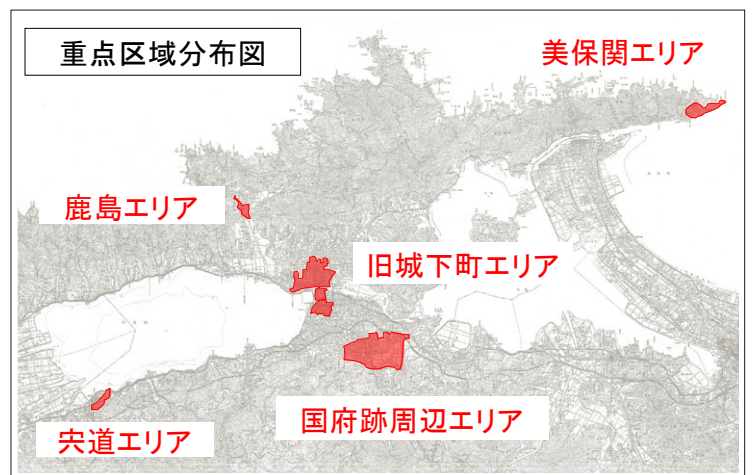
重点区域は、全市における歴史的資源の分布状況を踏まえ、5つのまとまった区域を定めました。

① 旧城下町エリア

〔江戸時代に形成された城下町地区〕

松江城を中心として江戸時代に形成された堀割りや道筋、町割りが今も良く残っており、寺社建築や武家屋敷、茶室などの歴史的な建造物が集中している地区です。

この地区では、伝統文化として江戸時代に盛んになった茶の湯文化が今も息づいており、伝統的な人々の活動としては、勇壮な船神事であるホーランエンヤや鑿行列が歴史的な道筋を歩いて今も繰り広げられています。



塩見縄手（代表的な歴史的町並み景観）



ホーランエンヤ（船神事）

☆主な整備事業：伝統的な茶室である「明々庵」への進入道路の美装化整備〔後半 事例紹介〕、
歴史的な町並み景観の保全向上を図るための修景事業費補助、
国宝化を目指す「松江城」石垣の修理、ホーランエンヤ伝承館の整備 等

② 国府跡周辺エリア〔古墳時代から奈良時代にかけての遺跡群や神社が集中する地区〕

奈良時代に置かれた出雲国府を中心として条里制が良く残るほか、出雲国風土記に記載のある建造物や登場地に比定される遺跡や、国府が置かれる背景ともなった豪族の存在を示す古墳なども集中した地区です。

この地区では、出雲国造家に縁の深い神社もあり、現在でも祭礼が受け継がれています。

☆主な整備事業：真名井神社への進入道路の美装化整備、出雲国分寺跡の整備 等

③ 美保関エリア〔海運で栄えた美保関のみなと文化が見られる地区〕

海に面した小さな湾に美保神社を核とした伝統的なみなと町のまちなみが良好に保存され、歴史的な建造物が残るまちなみの中で伝統的な祭礼が今も受け継がれている地区です。

この地区では、海運で栄えた美保関を象徴する灯台がある他、美保神社の末社もあり、みなと文化に見られる風情は美保湾から美保関灯台にかけてのエリア一帯に広がっています。

☆主な整備事業：美保関灯台旧吏員退息所の改修整備、弁天波止場常夜燈の改修整備 等

④ 鹿島エリア〔佐太神社を中心とした地区〕

奈良時代の『出雲國風土記』、平安時代の『延喜式』にも記載されている古社である「佐太神社」を中心とする地区です。

この地区では、ユネスコ無形文化遺産である「佐陀神能」が今も執り行われております。

☆主な整備事業：佐太神社の参道及び周辺の整備 等

⑤ 宍道エリア〔近世山陰道を中心として宿場町の町割りの残る地区〕

近世に整備された山陰道沿いに江戸時代に本陣として使われた木幡家住宅を中心として宿場町として形成された町割りが現在でも良く残り、小路も当時の道幅で残っている地区です。

この地区では、氷川神社の神事「蓮華祭」が現在も受け継がれています。

☆主な整備事業：宿場町周辺の歴史的街道・小路の整備 等

★その他 重点整備エリアに限らず、市内全域で取組む事業

歴史的資源を巡る「まち歩きマップ」の作成〔後半 事例紹介〕、

歴史的資源の「まち歩き案内・説明板」の設置〔後半 事例紹介〕、

松江市史の編纂、ふるさと文庫の製作 等

3. 具体的な取り組み

重点整備エリアを中心とした様々な歴史まちづくり事業の中で、今回は特に「道路」と関係の深い事業を3つ紹介させていただきます。

実施にあたっては、3事業とも国土交通省の社会資本整備総合交付金を活用しております。

(1) 茶室「明々庵」への進入道路の美装化整備

① 整備の概要

松江を代表する茶室の一つである「明々庵」への進入道路を歴史的景観に配慮した美装化舗装に整備する事業です。

美装化舗装の材質及び色合いについては、松江市景観審議会の答申並びに地元住民とのワークショップの結果を踏まえ、道路表面に白い骨材（石灰質系）を均一にちりばめ、グレー系の落ち着いた色合いに仕上げました。

② 整備の背景

「明々庵」は、松江の歴史的風致である“茶の湯文化”における代表的な茶室で、松江城が近くに見える場所にあることから、近世の城下町松江の風情を色濃く残しています。

しかし、美装化整備を行なう前は、茶室への進入道路が一般的な黒アスファルト舗装で、周辺の歴史的空間との繋がりを感じにくく、市民や観光客が訪れにくいという課題がありました。

③ 整備の効果

この美装化整備を行なうことにより、周辺の歴史的な町並み・空間との一体感が生まれ、市民や観光客にとっても訪れやすい環境となり、まち歩き観光の充実に繋がりました。

本市では、まち歩き観光の一環として、旧城下町エリアを中心に15のまちあるきコースを設け、まち歩きイベントを開催しておりますが、美装化整備の効果もあり、この明々庵への道を含む「松江城下の町人文化コース」が、最も人気のあるコースとなっております。



明々庵（茶室）



明々庵への進入道路の美装化（石灰石入 舗装）

(2) 歴史的資源を巡る「まち歩きマップ」の作成（わがまち自慢発掘プロジェクト）

① 整備の概要

市内の公民館区（全29公民館区）毎に、各地域の住民が主体となって、地域の“お宝（歴史的な寺社仏閣や自然景観など）”を選抜し、それらをつなぐ“まち歩きルートマップ”を作成する事業です。

② 整備の目的

主な目的は2つあり、「各地域の歴史的な“お宝”を広く市民や観光客に紹介し、まち歩きを楽しんでもらうこと。」と「まち歩きを通じて、市民の地域に対する愛着心を醸成し、歴史まちづくりに

ついでに機運を高めること」です。

③ 整備の手法

これまで本市では、歴史・観光資源をテーマとした様々なマップを作成してきましたが、残念ながら中にはあまり活用されていないものもありましたので、その反省も踏まえ、このマップづくりでは、特に次の点に留意して実施しております。

- ・行政が一方的に作成するのではなく、地域住民に主体的に作成してもらうこと。
- ・楽しく使ってもらえるように、魅力的な“まち歩きルート”を設定すること。

④ 整備の効果

地域住民が主体となってマップを作成することにより、マップへの愛着も生まれ、各地域主催のまち歩きイベントや地域の歴史学習会など、マップを活用した地域行事が積極的に行われるようになり、市民の地域愛着心や歴史まちづくりへの機運が高まってきました。

特に、各地域主催のまち歩きイベントについては、一過性のものではなく定期的（年4回程度）に行われており、参加者から「身近すぎて歩かない場所を地元ガイドさんの解説を聴きながら歩くことにより、いろいろな発見や新鮮な感動があった」という声が多く寄せられるなど、大変、ご好評いただいております。

又、多くの人々がまち歩きを通じて、地域の道路を利用することにより、市民からは新たな美装化整備箇所の提案や、危険箇所についての情報提供などがあり、市民の道路行政に対する関心も高まりました。



各地域のまち歩きマップ



地域主催のまち歩きイベント（大人気企画です）

(3) 歴史的資源のまち歩き案内・説明板の設置

① 整備の概要

各地域で作成した「まち歩きマップ」に掲載されている歴史的資源や、歴史的に由来のある地名・町（丁）名などについての案内・説明板を設置する事業です。

② 整備の目的

市民や観光客にまち歩きマップを活用したまち歩きをより楽しんでもらうための事業です。

③ 整備の効果

この事業により、市民や観光客がテーマ性のある魅力的なまち歩きを楽しめるようになり、松江の歴史的な風情や空間をより深く感じることができるようになりました。



歴史・文化のまち歩き案内・説明板

4. おわりに

今回、ご紹介させていただきました3つの事業（道路の美装化整備、まち歩きマップ作成、案内板設置）は、いずれも、本市の歴史まちづくりや道路環境整備のみならず、観光振興の面でも大きな成果を上げております。

本市では、近年、観光振興策としても「歴史的資源を巡るまち歩き」に特に力を入れており、松江の歴史的な魅力を地元ガイドさんの解説を聴きながら、のんびり歩ける『松江おちらとあるき』という企画などもやっております。

この企画は、従来のように名所旧跡をただ見てまわるだけではなく、加えて、城下町の古くからある商店、路地裏、道端の石柱、地方独特の瓦屋根、建物の塀、そこに住む人々を長年見守ってきた橋など、住民の暮らしぶりや歴史が感じられる「まち」そのものを地元ガイドさんの案内のもと歩くというもので、大変ご好評をいただいております。

今後も、松江の歴史的資源を活かし、市民にも観光客にも楽しんでいただけるような歴史まちづくり（道づくり）を推進して行きたいと考えておりますので、皆さまも、機会がございましたら、是非、松江にお越しくださいませ。

～松江の歴史的な町並みをのんびり歩いてみませんか～

『松江おちらとあるき』 <http://www.kankou-matsue.jp/machiaruki/>